



HIV testing among MSM in Japan

厚生労働科学研究費補助金

「エイズ対策政策研究事業、MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」

「MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立及びPDCAサイクル構築のための研究」の研究成果をもとに、各地域で特にCBOが企画、広報を行い協働で実施した保健所以外のHIV抗体検査の状況をまとめた。

新宿

●「HIV Check (ver.2)」

調査実施年	—
開始年	〈ver.1〉2015年～2016年、 〈ver.2〉2018年～
キット配布件数	2,087件
検査件数	〈ver.1〉 1,399件 、 〈ver.2〉 1,741件 (2019年1月末)
陽性判明割合	3.8% (2019年1月末)
検査・調査体制	ACC、都立駒込病院、クリニック、 南新宿検査・相談所

名古屋

●「NLGR+検査会」

調査実施年	毎年、最新は2019年
開始年	2001年
検査件数	743件 (2019年)
陽性判明割合	2.56%
検査・調査体制	名古屋市、名古屋医療センター

●「M検 (名古屋市性感染症検査会)」

調査実施年	毎年、最新は2019年
開始年	2008年
検査件数	179件 (2019年)
陽性判明割合	0.0%
検査・調査体制	名古屋市、名古屋医療センター

●「M検in岐阜」

調査実施年	毎年、最新は2019年
開始年	2011年
検査件数	36件 (2019年)
陽性判明割合	0.0% (2019年)
検査・調査体制	岐阜県、岐阜大学医学部

大阪

●「distaでピタツとちえっくん」

調査実施年	毎年、最新は2019年
開始年	2014年 (2018年より事業化)
検査件数	27～28人/回 計 209件 (2018年)
陽性判明割合	0.0%～2.0% 計 0.5% (2018年)
検査・調査体制	大阪市保健所

Okinawa

中国・四国

沖縄



●「せとうち性病検査」

調査実施年	2018年、2019年
開始年	2018年
検査件数	(2018年) 30件 (2019年) 26件
陽性判明割合	3.3% (岡山県とせとうちで合算)
検査・調査体制	クリニック11件

●「もんげー性病検査 (岡山県岡山市・倉敷市)」

調査実施年	2015年～2019年
開始年	2015年
検査件数	(2018年) 65件 、 (2019年) 31件 (第1弾のみ)
陽性判明割合	3.3% (岡山県とせとうちで合算)
検査・調査体制	クリニック5件

●「沖縄 HIV Check」

調査実施年	2019年2月、2020年1月
開始年	2019年
配布件数	(2019年) 22件 、 (2020年) 33件
検査件数	(2019年) 16件 、 (2020年) 26件
陽性判明割合	0.0%
検査・調査体制	琉球大学医学部付属病院、ACC

●「Mabuiで梅毒・HIV検査」

調査実施年	2018年
開始年	2017年 (2018年より事業化)
検査件数	(2018年) 20件 、 (2019年) 20件
陽性判明割合	—
検査・調査体制	那覇市



発行日 令和2年3月31日

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究
MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立及びPDCAサイクル構築のための研究

発行者	研究代表者 金子典代（公立大学法人 名古屋市立大学看護学研究科） 研究代表者 塩野徳史（大阪青山大学）
発行所	名古屋市立大学看護学研究科 〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 E-mail : noriyok@med.nagoya-cu.ac.jp Tel : 052-853-8065（直通）

Design : S.Katayama



HIV & STI prevention among MSM in Japan

コミュニティにおけるHIV感染対策の状況の把握と評価を目的に、厚生労働科学研究費補助金

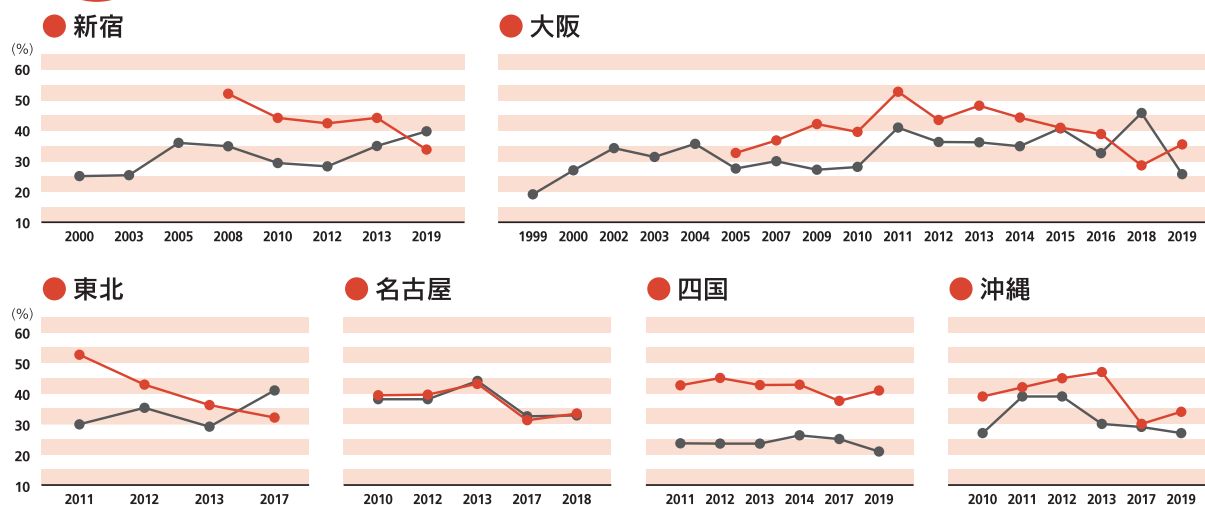
「エイズ対策政策研究事業、MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」

「MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立及びPDCAサイクル構築のための研究」では、ゲイバーやクラブイベントなどのゲイ向け商業施設利用者を対象者として、またコミュニティセンター利用者を対象者としてアンケート調査を実施している。

そのうち、各地域別に検査行動やコンドーム使用行動など予防行動に関するデータを地域別に一覧としてまとめた。

1 各地域の状況

過去1年間のHIV抗体検査受検割合と過去6ヶ月間のコンドーム常用割合の推移



2 各地域の状況

コミュニティセンター利用者とコミュニティにおける予防啓発の状況

		東北 ZEL	東京 akka	名古屋 rise	大阪 dista	沖縄 mabui
Q. コミュニティセンターにどのような人が来ているか？	N / 実施年度 2018年度	41	189	67*	144	21
	平均年齢	39.1歳	36.9歳	35.5歳	37.3歳	34.2歳
	設置都府県以外の居住割合	19.5%	31.9%	26.9%	37.6%	19.0%
	初来場割合	12.2%	19.8%	3.0%	12.5%	23.8%
	セクシュアリティの未開示割合 (非カミングアウト割合)	34.2%	18.4%	23.1%	27.6%	20.0%
	過去6ヶ月間のゲイ向け商業施設利用割合 (※)	68.3%	82.5%	71.6%	79.2%	71.4%
Q. コミュニティセンターに来ている人の予防行動は？	HIV抗体受検割合	65.9%	79.4%	83.6%	83.9%	57.1%
	これまで	65.9%	79.4%	83.6%	83.9%	57.1%
Q. コミュニティセンターに来ている人のうち、啓発介入の効果は？	来場者におけるコミュニティセンターでの情報取得経験	85.4%	70.9%	88.1%	77.8%	71.4%
	来場者におけるコミュニティセンターでの相談経験	56.1%	34.4%	47.8%	41.0%	42.9%
	来場者におけるコミュニティセンターに関連する資料受取	80.5%	70.1%	89.6%	72.5%	66.7%
	過去1年間**	39.1%	52.0%	60.0%	42.1%	45.5%
Q. コミュニティにおける啓発介入の効果 (資料の浸透度) は？	調査方法	コミュニティアンケート	GCQ	コミュニティアンケート	GCQ	GCQ
	N / 実施年度 2018~2019年度	121	118	320	142	100
	コミュニティセンター認知割合	57.8%	66.1%	53.5%	56.3%	58.0%
	ニュースペーパー認知割合	51.2%	34.7%	38.8%	21.8%	32.0%
	コンドーム認知割合	39.7%	-	76.9%	69.0%	59.0%
Q. コミュニティにおける予防行動や感染リスクは？	HIV抗体受検割合	60.3%	78.0%	68.1%	78.2%	62.0%
	これまで	60.3%	78.0%	68.1%	78.2%	62.0%
	過去1年間	41.3%	39.8%	32.2%	45.8%	40.0%
	過去6ヶ月間のアナルセックスにおけるコンドーム常用割合***	32.1%	33.8%	33.0%	28.6%	-
	PrEP利用経験	0.0%	2.5%	0.4%	0.7%	0.0%
	性感染症既往歴	32.2%	45.8%	40.3%	46.5%	43.0%

*「rise」は初来場者にはアンケートを配布していないため、来場経験のある人のデータ ** 過去1年間のHIV抗体検査受検割合はHIV陽性者は除いて分析した

*** 過去6ヶ月間にアナルセックスをしたことがある人を対象に分析した ※ ゲイバー・ゲイショップ・ゲイナイト・ハッテン場



発行日 令和2年3月31日

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究
MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立及びPDCAサイクル構築のための研究

発行者 研究代表者 金子典代（公立大学法人 名古屋市立大学看護学研究科）
研究代表者 塩野徳史（大阪青山大学）
発行所 名古屋市立大学看護学研究科
〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
E-mail : noriyok@med.nagoya-cu.ac.jp
Tel : 052-853-8065 (直通)

Design : S.Katayama